



株式会社BEANS BITOU

代表取締役・BITOU MASASHI

尾藤 雅士さん

日本の「喫茶文化」を守り 可能性を模索する

家業を継ぐことから はじめた喫茶人生

私の原点は、1977年に両親が開いた「喫茶ポピー」です。子供の頃から、母が一人で切り盛りする姿を見てきましたが、当初は店を継ぐつもりはありませんでした。音楽に打ち込んでいた私は、母から店をたむという話を聞き、音楽活動と両立できると軽い気持ちで家業を継ぐことを決めました。

「株式会社BEANS BITOU」とし

「ポピー」として再出発しました。

喫茶文化から生まれた つながり

喫茶文化とは、フルサービスマやコーヒーへのこだわりなど、一見すると非効率に見えることを重んじることだと考えています。そんな文化を大切にすることで、新たなつながりが絶えず生まれてきました。

例えば、伝票です。タブレットで注文する店が増える中、ニューポピーは紙の伝票にこだわっており、ポエムやイラストを載せています。イラストは定期的に変えており、現在のイラストは高校生イラストレーターがデザインしたものです。このように若いアーティストとのつながりも喫茶文化を大切にすることで生まれました。

また、提供する豆の背景や生産者の思いを対話の中で丁寧に伝えていきます。私自身、インドネシアやミャンマー、東ティモール、ルワンダなど世界各地のコーヒー産地を訪れ、生産者と直接向き合ってきました。スタッフにも現地を訪れた者が在籍しており、産地で経験したことを、お客様や卸先、開業支援先に伝えていきます。

喫茶文化の可能性

て法人化し、喫茶店をはじめました。しかし、お店を運営していく中で、当初順調だったのは母の時代の常連さんが支えてくれていたからだという、厳しい現実を知ることになりました。そして「歴史に勝るブランドینگはない」ということに気づきました。母が何十年も積み上げてきた「喫茶文化」こそが、ポピーの最大の魅力だったのです。

私はそれを壊さず、現代に合わせて少しだけアップデートすることを意識し、歴史と風情の残る那古野・四間道に拠点を移して「喫茶ニュー

喫茶ニューポピーには、海外からのお客様も多数いらつしゃいます。産地を訪れる中で知り合ったインドネシアのコーヒー会社の代表が日本の喫茶文化に興味を持ち、日本に来るたびに当店に立ち寄ってくれています。また、喫茶文化を世界に伝える取り組みとして、アパレルやグッズにも力を入れています。これらのグッズは、満席時にお客様にお待ちいただいたり、焙煎や仕込みもできる場所として昨年オープンした「ポピー焙煎室」で販売しています。ここでグッズを購入した方の中には、SNSを通じ、グッズの紹介と合わせて喫茶文化を世界へ発信していたり、日本の喫茶文化の注目度の高さが窺えます。

50周年に向け、新店舗の展開を構想中です。企画段階ですが、喫茶店としてこれまでにないサービスマスの提供にも取り組み、形にしていこうと予定しています。そうした取り組みから、従来とは異なる客層にも喫茶文化を伝え、新たな交流が生まれるお店づくりを目指します。今後も日本の喫茶文化を大切にしながら、喫茶店の可能性を模索し続けたいと思います。

Column

注目の特ピックス /

オリジナルグッズ



タバコの煙ただよ昔の喫茶店に思いを馳せて生まれた「喫煙天使」がデザインされた商品。他にもアパレル製品を販売し、店になかなか来れないという方にもグッズから当社を思い出していただけます。

Company Data | 会社概要

喫茶 ニューポピー

株式会社BEANS BITOU

【創業】1977年(2011年法人化)
【所在地】名古屋西区那古野一丁目36番52号
【TEL】052-433-8188
【URL】https://b-bitou.com/
【事業内容】喫茶店、コーヒー豆卸売、コーヒーを使った商品開発、開業支援



当初の予算の倍以上の家賃でしたが即決したお店。近所にはかつて曾祖父が住んでいたの縁を感じています(写真上)。ポピー焙煎室では焙煎以外にも、グッズの販売やカレーの仕込みなども行なっています(写真右下・左下)。